

平成27年度
筑波大学法科大学院
[ビジネス科学研究科法曹専攻]
法学未修者コース 入学試験

論文試験問題

(120分)

受験番号	氏名

注意事項

- 1) この問題冊子の表紙に、受験番号、氏名を記入してください。
- 2) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 3) 試験開始後、この問題冊子が1～12頁であること、答案用紙が2枚【1枚目:問Ⅰ（設問1）及び問Ⅰ（設問2）、2枚目:問Ⅱ（設問1）及び問Ⅱ（設問2）】あることを確認してください。
- 4) 試験開始後、2枚の答案用紙それぞれに、受験番号を記入してください。
- 5) 筆記用具は、鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。消しゴムを使用することができません。
- 6) 下書きは問題冊子の2頁及びその他の頁の余白、裏面を適宜利用してください。
- 7) 問題冊子は持ち帰ることができません。答案用紙とともに提出してください。
- 8) 試験開始30分間、試験終了前10分間は、退出できません。

(余白頁) 下書きはこの頁やその他の頁の余白、裏面を利用してください。

問Ⅰ 下記の文を読んで、次の各設問に答えなさい。(注：法律の専門的知識を問うものではありません。)(配点50点)

(設問1)

筆者が主張する日本人が採用し続けてる伝統的な外交戦略とは何か、その理由(あるいはメリット)も含めて、300字以内で説明しなさい。(30点)

(設問2)

日本においては、アメリカと異なり九条と自衛隊の関係についてどのように考えられていると筆者は述べているか、その理由も含めて200字以内で説明しなさい。(20点)

著作権法により公開しておりません。

[問Ⅰの文]

出典：内田樹『日本辺境論』(新潮社、2009年)58頁～71頁

(出題者注)

出題に際して、原文中の注及び見出しを省略し、漢数字を算用数字に変えている箇所がある。また、「〈中略〉」として、文章の1部を省略している。

問Ⅱ 下記の文を読んで、次の各設問に答えなさい。(注:法律の専門的知識を問うものではありません。)(配点50点)

(設問1)

筆者は「要素還元主義」とは何であり、現代医学の水準(注:人間を観察し、人間レベルでの仮説を立て、人間を単位として分析する方法論に基づく医学)からみて何が問題であると主張しているか、200字以内にまとめなさい。(20点)

(設問2)

筆者は、科学において実験が必要条件ではないにもかかわらず、日本の医学では実験が必要不可欠視されているとする。なぜ、日本の医学において、このような状況が見られると筆者は主張しているのか、300字以内にまとめなさい。(30点)

著作権法により公開しておりません。

[問Ⅱの文]

出典:津田敏秀『医学と仮説 原因と結果の科学を考える』(岩波書店、2011年)38頁～53頁

(出題者注)

出題に際して、本文中の注、見出し及び図表は省略し、漢数字を算用数字に変えている箇所がある。また本文中、本問引用部分以外の箇所を指示する記載も省略した(その部分は、問題文中で〔略〕と示した。)。また、「〈中略〉」として、文章の1部を省略している。